

JA全農杯 全国小学生選抜サッカー大会 IN四国

大会要項

- 1 大会名称 JA全農杯 全国小学生選抜サッカー大会 IN四国
- 2 主催 日刊スポーツ新聞社
- 3 主管 (一社)四国サッカー協会 (一社)徳島県サッカー協会 第四種委員会
- 4 後援 公益財団法人日本サッカー協会
- 5 協賛 香川県農業協同組合(JA香川県)
- 6 特別協賛 全国農業協同組合連合会(JA全農)
- 7 期日 平成31年4月6日(土)・4月7日(日) 開会式4月6日 10:00
- 8 会場 吉野川市多目的グラウンド
徳島県吉野川市川島町桑村607番地23

- 9 参加資格
 - 1) 2019年度に(公財)日本サッカー協会に加盟登録している第4種のチームであること。
(順加盟チームを含む)(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。
 - 2) 上記団体(チーム)に所属する選手であり、2007年4月2日以降の出生者であること。
 - 3) 各県予選を勝ち抜いた12チーム(県予選時の登録選手で構成し、18名に満たない場合は補充を認める)または、四国各県の推薦を受けたチームであること。
 - 4) 原則としてチームの編成は、引率指導者3名、選手18名とする。(選手18名を登録できないチームは参加できない。)引率指導者は、当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
 - 5) 2019年5月3,4,5日 日産スタジアムで開催される「JA全農杯 全国小学生選抜サッカー大会」に参加可能なチームであること。

- 10 競技方法
 - 1) 【予選リーグ】1グループ3チームによるリーグ戦(4グループ)
グループA: 徳島県1位・香川県2位・高知県3位
グループB: 香川県1位・高知県2位・愛媛県3位
グループC: 高知県1位・愛媛県2位・徳島県3位
グループD: 愛媛県1位・徳島県2位・香川県3位
【決勝トーナメント】各グループ1位4チームによるトーナメント戦を行う。
1位グループの1位が四国代表として全国大会に出場する。
同様に2位グループ、3位グループのトーナメント戦を行い、1位～12位までの順位を決定する。
 - 2)
 1. 試合時間は36分(12分×3ピリオド)
 2. インターバル:第1ピリオドと第2ピリオド間は、選手総入替えに要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は5分以内とする。
 3. 第3ピリオドはコイントスにてサイドを決定し、6分が経過したのちサイドをチェンジし他方のチームによるキックオフで試合を再開する。
 4. 勝敗の決しない場合、予選リーグは引き分けとする。決勝トーナメントは、6分(3分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式(3人ずつ)により勝敗を決定する。

5. 予選リーグの順位決定は、勝ち点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。
勝ち点は、勝ち:3点 引き分け:1点 負け:0点 とする。
ただし、勝ち点が同じ場合は、得失点差・総得点・当該チーム間の対戦結果・抽選の順により順位を決定する。

3) 選手の交代

1. 第1ピリオド⇒第2ピリオドは、選手を総入れ替えすること。(第1ピリオドに出場した選手は、第2ピリオドに出場できない。)
2. 第3ピリオド以降(延長戦含む)は、自由な交代とし全ての選手が出場できる。

11 競技規定

- 1) 大会実施年度の最新版「8人制サッカー競技規則」((公財)日本サッカー協会)により実施するが、細則については、大会実施委員会決定の要項によるものとする。
- 2) ボールは、少年用4号球を使用する。
- 3) ベンチに入ることができる人数は、13人(交代要員:10人、引率指導者:3人)
- 4) テクニカルエリアを設置する。
- 5) テクニカルエリアからのコーチングは1名のみとする。テクニカルエリア内にいる役員(監督・コーチ・スタッフ等)が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後、再度何れかの役員が同様の行為をした場合は、主審の判断によりその役員を退席処分とし、それ以降のテクニカルエリアからのコーチングは不可とする。
- 6) 競技者が退場を命じられた場合、該当チームは速やかに交代要員の中から競技者を補充しなければならない。常に8人でプレーすることを基本とする。ただし、
 1. 全ての選手は、第1ピリオド又は、第2ピリオドの何れかと、第3ピリオド以降に出場できる。
 2. 試合時に16名以下の場合、交代要員がいないこととなり、第1ピリオド、第2ピリオドで退場、負傷者がでても補充は認めない。
- 7) 退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できない。それ以降の処置は、本大会の規律委員会の協議により決定し通知する。
- 8) 警告の累積が2つとなった競技者は、次の1試合に出場できない。
- 9) 警告の累積、出場停止処分は、リーグ戦からトーナメント戦へ持ち越しする。
- 10) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために、フィールドに入場を許される引率指導者の数:2名まで
- 11) 飲水タイムは採用しない。
- 12) アディショナルタイムの表示:決勝トーナメントのみ実施
- 13) 審判は、1人制とする。予備審判員(スタンバイレフェリー)1名を指名する。
※主審負傷の場合は、交代可とする。
- 14) 競技場:天然芝もしくは、人工芝のグラウンドを使用する。
- 15)
 1. ピッチサイズ:縦68m、横50m
 2. ペナルティーエリア:ゴールライン上、ゴールポスト外側に12m、その地点からゴールラインに直角に12m
 3. ゴールエリア:ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m、その地点からゴールラインに直角に4m

4. センターサークル:半径7m
5. ペナルティーマーク:8m
6. ペナルティーアーク:7m
7. コーナーキック、フリーキック時の壁との距離:7m
8. ゴール:ゴールの内のり 縦2.15m、横5m

16) グリーンカードの導入

17) 試合中のアップはボールの使用を禁止する。ベンチ後方またはベンチサイドの空きスペースを利用してください。

18) マッチコーディネーションミーティング(MCM)

1. 試合開始予定時刻の30分前に、本部にてMCMを行いますので、メンバー表を持参してください。(運営・両チーム・審判員)
2. 初日の第1試合のMCMは、監督会議の後に実施します。

- 12 ユニフォーム
- 1) 参加チームは、(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規程に従い、正副の異なる色彩の2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング、GK共)を登録し会場へ持参すること。
 - 2) 選手は、参加申込書に登録した番号(1~18番の通し番号)を付けること。
 1. GK⇒FP:ゲーム使用と同色のユニフォーム(同一番号)を着用。
 2. FP⇒GK:ゲームに不使用色のユニフォーム(同一番号)を着用。
 - 4) ユニフォームへの広告表示は認めない。また、レプリカユニフォームも使用できない。
 - 5) 競技者のビブス着用は認めない。控え選手は、ビブス又は競技者と区別の付く上着を着用しなければならない。
 - 6) ユニフォームが準備できないチームは、本大会へ参加できない。

13 表 彰 優勝・準優勝:賞状・メダル・副賞(JA)、第3位:副賞(JA)

14 組み合わせ 別紙参照

15 監督会議 平成31年4月6日(土) 9:30~ 大会本部にて

16 参加申込み1)【参加チーム】

所定の参加申込書(参加申込書、参加チーム情報、プライバシーポリシー同意書)に必要事項を記入のうえ、3月8日(金)までに下記大会事務局宛にe-mailにて申し込むこと。

【役員】

宿泊・弁当申込書(役員)、参加チーム報告書に必要事項を記入のうえ、3月8日(金)までに下記大会事務局へe-mailを送信してください。

2) 参加チームの宿泊・弁当の斡旋は行わないので、それぞれのチーム責任において確保すること。

- 3) 役員の宿泊等については、大会事務局にて手配いたしますので別紙【役員：宿泊・弁当申込み書】に従い事務局までお申込み下さい。
(宿舎：あわの抄 徳島県三好市池田町白地本名165番地6 0883-74-1414)

17 その他

- 1) 参加チームは、傷害保険(スポーツ安全保険)に加入すること。なお、(一社)徳島県サッカー協会は、試合会場での応急処置のみを行います。救急を要する場合は、後方病院に連絡し、不慮の状況に対しては、現場で可能な範囲で処置をいたします。
- 2) 閉会式は、最終戦終了後に実施する。
- 3) 登録選手の補充(変更)は、大会初日の監督会議終了までとする。
ただし、変更はやむを得ない理由(登録選手の怪我など)を前提とするものである。
※変更で削除される登録選手については、診断書など証明書類(写し)の提出をお願いします。前日、当日などの緊急を要する案件は、後日申請で構いません。
- 4) 大会当日に何らかの理由により、選手が18名に満たなくなることはやむを得ないことであり、17名～16名でも参加を認める。ただし、各試合開始時に16名未満となったチームは、その時点をもってオープン参加扱いとし、戦績を抹消、グループの最下位とする。